

変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2014
March

No. 144

3



JA全農ぐんま



私たち全農グループは、生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき ③

営農総合支援センター

- 野菜の生産拡大のための取り組み支援
- J A 営農経済渉外活動の導入・実践にともなう総合的な支援
- 担い手支援のための取り組み
- 食の安全・安心対策への取り組み

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良 E T 卵産子の活用促進)

米麦特産課

- こんにゃく荒粉・精粉入札販売推進
- 桑苗引渡・推進
- きのこ種菌・種駒推進

園芸部

園芸販売課

- 共計雨除けほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計上州ねぎ販売 (3月15日迄)
- 共計春菊販売 (3月8日迄)
- 共計白ねぎ販売 (3月末日迄)
- 共計土ねぎ販売 (3月末日迄)
- 共計山うど販売 (4月末日迄)
- 共計ブリックスナイン販売 (6月末日迄)
- 県統一規格共計きゅうり販売 (7月末日迄)

販売促進課

- 春野菜販売促進
- もやし・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

園芸資材課

- 春夏用出荷資材予約・当用推進
(ほうれん草・きゅうり・ふぎ他)
- 春夏用青果物段ボール予約・当用推進
- 農ビ・農ポリマルチ予約・当用推進
- 春夏用野菜種子推進
(ほうれん草・枝豆・とうもろこし他)

生産資材部

花木流通センター

- 売出し・フェアの実施
 - ☆花木流通センター
 - 3月21日(金)～24日(月) 39周年 大創業祭
 - ☆愛菜館
 - 3月8日(土)～9日(日) 13周年 大感謝セール
 - 3月8日(土)、19日(水)、28日(金)
 - 8の日 お米特売

- 造園工事推進

肥料農業課

- セルフブレンド推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 生花利用拡大運動推進 (周年)
- デコボン推進 (2月～3月)
- 仕込み味噌推進 (25/10月～26/3月)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産「新築そっくりさん」推進 (周年)

自動車燃料部

ガス課

- 第2回お客様謝恩キャンペーン
- 新生活応援セール

この度の豪雪で被害を受けられた皆様に、心からお見舞い申し上げます。

J A全農ぐんまでは、群馬県内における被害状況の把握に努め、被害にあわれた皆様への支援等、速やかに対策を講じて参ります。

園芸資材情報

パイプハウス解体時に必要な道具について

大雪により倒壊した農業用ハウスを解体する場合、安全を確保し怪我のないよう十分注意して作業を行ってください。ここで解体に必要な道具をご紹介します。

1 個人で用意するもの

名 称	使用用途
汚れても良い服装	泥などで結構汚れるため。
厚手ゴム手袋 長ぐつ・帽子	動きやすく、作業者の安全を守るため。
腰袋	道具を収納できれば、移動の作業に大変便利。

名 称	使用用途
かなづち	ハウスの金具をたたいて取り外す場合に使用する。
ペンチ	鋼線などを切断する場合に使用する。
カッター ハサミ	フィルムやプラスチック線などを切る場合に使用する。
マイナス ドライバー	スプリングやバックカーを取り外す際に使用する。

2 効率的に解体ができる道具

名 称	画 像	使用用途
発電機		電源が取れない場所で、電動工具を使用するため。
延長コード		電源を取りやすくするため。
防塵カッター		太いパイプを切るため。
サンダー		パイプを短く切って取り壊しやすくするため。

名 称	画 像	使用用途
電動 ドライバー		固く締まったビスをはずすため。
パイプを 抜く道具		深くささったパイプを抜きやすくするため。
番線カッター		スプリングなど金属線を切るため。
肥料袋 コンテナ		バックカーやスプリングなど、取り外したものを分類し、再利用しやすくするため。

※パイプを抜く道具 使用方法



※この記事中の画像は、各社様から転載許諾を得ています。



第21回 ぐんまふれあいミートフェスタ
群馬県枝肉共励会 肉豚の部褒賞授与式
(2.5 ㈱群馬県食肉卸売市場)

品質向上へ向けて高め合う

2月3日(月)～5日(水)、本県家畜の改良増殖と家畜経営の活性・安定化を図り、消費者及び流通業者等の求める食肉を衛生的な食肉処理施設で処理し、ニーズに合った安全性の高い食肉を展示・PRすることにより、群馬県産食肉の名声を高めることを目的とした「第21回 ぐんまふれあいミートフェスタ 群馬県枝肉共励会 肉豚の部」が開催されました。厳正な審査の結果入賞者が決定し、5日(水)に褒賞授与式が執り行われました。名誉賞受賞者をご紹介します。

■個体の部

(雌)		(去勢)	
JA前橋市	石関 文明	JAにったみどり	㈱フリーデンカタナラ農場 和田 秀樹

■総合の部

JA前橋市	石関 佳穂
-------	-------



第8回 JA農産物検査員鑑定技術コンテスト
(2.7 JAぐんま研修センター)

鑑定技術向上に向け真剣な眼差し

2月7日(金)、JAグループ群馬農産物検査協議会主催による、米麦の鑑定技術の維持・向上を目的とした「第8回 JA農産物検査員鑑定技術コンテスト」が開催され、各JAの検査員19名が参加しました。コンテストは、水稻うるち玄米・水稻もち玄米・小麦の品位鑑定や銘柄鑑定など、計50サンプルを対象に行われ、知識と経験を活かし鑑定技術を競いました。競技の結果、成績上位者は3月7日(金)に千葉県で行われた「JAグループ全国農産物鑑定会及び意見交換会(全国大会)」へ出場しました。



平成25年度 群馬県こんにゃく実績検討会
(2.12～13 渋川市内)

こんにゃくの今を考える

2月12日(水)～13日(木)、こんにゃく研究会員の資質向上を図るとともに経営の改善に資することを目的とした「平成25年度 群馬県こんにゃく実績検討会」が開催されました。群馬県こんにゃく研究会員・県・団体関係者等、約160名が参加し、第40回群馬県こんにゃく立毛共進会表彰式や県内各産地のこんにゃく栽培代表者による経営実績の発表及び農林水産省による情勢報告、群馬やまふぐ本舗の佐々木氏による「ぐんまの達人やまふぐの伝統のこだわり」と題した講演会等が行われました。



第6回 群馬県産上州和牛枝肉共進会褒賞授与式
(2.14 渋川家畜市場)

■上州和牛銘柄の確立を目指す

1月16日(木)～20日(月)、群馬県内にて生産され、かつ県内にて肥育された肉牛の枝肉共進会を通じ、繁殖及び肥育農家相互の飼養管理技術の向上と肉質向上を目指し、より強固な生産基盤の確立と肉牛経営の安定に寄与することを目的とした「第6回 群馬県産上州和牛枝肉共進会」が開催されました。厳正な審査の結果入賞者が決定し、2月14日(金)に褒賞授与式が執り行われました。最優秀賞受賞者をご紹介します。

肥育者		繁殖者	
JA碓氷安中	佐藤 敬三	JA前橋市	岩崎 政男



じゃがいも栽培講習会・マメトラ管理機取扱講習会
(2.26 花木流通センター)



平成25年度 肉用牛合同研修会
(2.28 JAビル)

■野菜づくりの基礎を学ぶ

2月26(水)、花木流通センターの収穫体験農園において、「じゃがいも栽培講習会・マメトラ管理機取扱講習会」が開催されました。農園を管理する生産者の加藤氏を講師に迎え、土づくりをはじめとする栽培管理方法について講義が行われました。初心者にも分かりやすい説明が人気で、参加者たちはメモを取りながら熱心に受講していました。当センターでは、お客様のニーズに合わせた様々な講習会を開催しています。今後は、4月5日(土)・6日(日)に里芋・生姜・トウモロコシ・枝豆・落花生の栽培講習会を行う予定です。

■畜産経営のヒントを学ぶ

2月28日(金)、(公社)群馬県畜産協会・(一社)家畜改良事業団前橋種雄牛センター・各種協議会・当県本部共催の「平成25年度 肉牛合同研修会」が開催され、生産者やJAの畜産担当者等が参加しました。第1部では各団体による事業・情勢報告等が行われ、続く第2部では(一社)家畜改良事業団の小林氏による「牛肉のおいしさについて～わかっていること、いないこと～」、(株)微生物化学研究所の函城氏による「肉用牛のワクチネーション」と題した講演がそれぞれ行われました。

一層の生産拡大と販売促進に向けて

2. 6~7 群馬県青果物販売促進会議 渋川市

2月6日(木)~7日(金)、県・群馬県園芸振興協議会・当県本部共催の「群馬県青果物販売促進会議」が開催され、県内各JA・JA関連団体・全国主要青果物卸売会社・流通関係者等、約200名が参加しました。この会議は、市場をはじめとする流通関係者に対し、本県産青果物の更なる販売促進を行うとともに、関係機関の連携により生産振興及び生

産・流通・販売体制の強化を図ることを目的に毎年開催されています。当日は、優良卸売会社表彰並びに実需者の表彰や、本県の園芸振興対策や平成26年度青果物生産出荷基本計画についての説明、元宝塚歌劇団宙組の堀内氏による「人が輝き組織が活きる心と体の磨き方」と題した講演会が行われました。



▲ 会場の様子 ▲



▲ 講演を行う堀内氏

花木流通センターよりお知らせ

4月14日(月)、群馬テレビ「JAみどりの風」にて春の花木流通センターが紹介されます!家庭菜園やガーデニングが盛んになるこれからの季節にぴったりの情報が満載です!是非ご覧ください。

● 放送予定日時

4月14日(月)
22:00~22:30

※都合により、放送時間が変更となります。ご注意ください。

● 再放送予定日時

4月20日(日)
12:30~13:00

※都合により、放送時間が変更となります。ご注意ください。

● 放送予定内容

果菜苗の販売情報・生産の様子、ふらわーらんど紹介、エキステージ紹介、ブランド野菜館紹介等

JAみどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

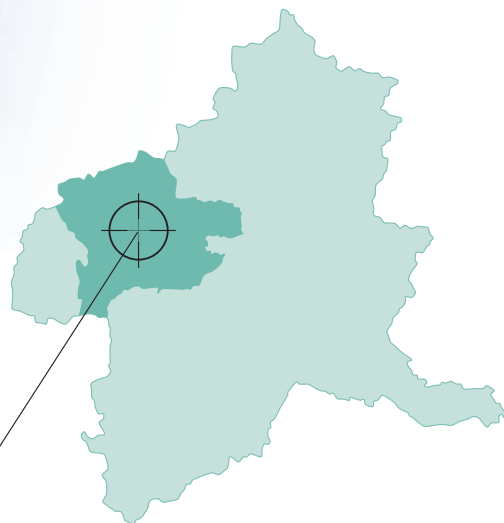
番組名/提供	放送日 ※再放送日	時間
もうすぐ一年生! JA共済交通安全教室 / JA佐波伊勢崎・JA共済連群馬	※ 4月6日(日)	AM 8:00~8:30
	4月7日(月)	PM 9:00~9:30
消費者と力をあわせて牛乳生産/東毛酪農業協同組合	※ 4月13日(日)	AM 8:00~8:30



三隅 有里子アナ

農業 チャレンジ

JAあがつま



固定観念にとらわれない 自分らしい農業を

JAあがつま管内 富澤 裕敏 さん



富澤 裕敏(とみざわ・ひろとし)さん

1982年生まれ、31歳。

飼養頭数…搾乳牛:60頭

育成牛:46頭

栽培面積…牧 草:6.6ha

とうもろこし:4.8ha

趣 味…ゴルフ・トライアスロン

就農までの道のり

今回のチャレンジャーは、JAあがつま管内で酪農を営む富澤さんです。農業に従事する両親の姿を見て育ち、「いつかは自分が」という思いを抱いていたそうです。「大学を卒業後、縁あってJAあがつまの畜産部で働くことになりました。それは、様々な酪農家の経営方法を間近で学べるチャンスでもあり、良い経験となりました。その後、実家の規模拡大を機にJAを退職し、本格的に酪農を始めて今年で7年目になります。」と話してくれました。

今年1月には父親から経営を引き継ぎ、新たなスタートを切った富澤さん。型にはまらず、自らが良いと思った技術は多方面から取り入れているそうです。

「安全・安心・美味しい」を追求

近年、富澤さんの農場では、完熟堆肥を使用した米麦生産にも取り組んでいます。従業員であり、米麦の生産・販売を担当している関口さんとは学生時代からの友人だそうです。「酪農と米麦の循環型農業の確立を目指す同士ですね。関口君の発想や行動力、向上心の強さには大いに刺激を受けました。」と富澤さん。関口さんにもお話を伺うと、「以前は会社勤めをしながら米麦の栽培をしていたのですが、『品

質にこだわった美味しいものを作りたい』という共通の思いから、富澤君と協同し農業一筋でやっていくことを決めました。現在はJAたかさき管内で、化成肥料を使用せず農薬の使用も極力抑えた米麦生産に取り組んでいます。」と話してくれました。

信頼し合う2人の挑戦は始まったばかり。厳しい時代だからこそ、互いに切磋琢磨し高め合っていきたいといいます。

確固たる信念と決意

富澤さんに今後の展望を伺うと、「自給飼料で育てた牛を資源とした生乳と米麦を使用し、加工品の製造・販売までを一貫して行うことを目標としています。循環型を特色とした農業こそが経営者としての夢ですから。その為、増頭等の規模拡大はせず、今あるものを最大限まで活かし、更なる品質の向上、そして新たな付加価値の創造に努めていきます。ここには、自分の思い描いている夢を実現出来るだけの環境があり、支えてくれる家族や仲間がいます。これからも思いを一つに頑張っていきたいと思います。」と力強く話してくれました。

横の繋がりを広げ、新たな可能性を見出しチャレンジしていくことが重要という富澤さん。熱い思いで前進続ける姿に、今後の活躍が期待されます。





1



2



3



4

- 1 経営者としての道を歩み始めた富澤さん。「周囲と一体となって畜産を盛り上げていきたい」という。
- 2 関口さんと一緒に。2人で夢を実現したい。
- 3 作業効率の良い無駄のない牛舎。
- 4 恵まれた環境で飼料自給率の向上を目指す。

がんばってまーす!

INTERVIEW

JA赤城たちばな
営農経済部 経済福祉課

武田 洋樹さん

Profile

たけだ・ひろき (30歳)

趣味..... アウトドア

特技..... スノーボード

好きなスポーツ..... ランニング

●職場の皆さんから見た武田さん

「組合員の皆さんのために、日々努力している姿が印象的です。今後益々の活躍を期待しています!」

「新天地で気持ちも新たに」

——どうしてJAで働こうと思ったのですか？

実家は非農家ですが、地域に密着した仕事がしたいと思い就職を決意しました。

——実際に入組してみてどうでしたか？

JAというブランド力の高さを再認識すると共に、様々な事業を幅広く展開していることに驚きました。

——現在の仕事内容を教えてください。

営農資材の受発注や提案等を行うことで、北橘地区の組合員の方々をサポートしています。とはいえ、ここ経済福祉課には昨年配属されたばかり。皆さんから信用してもらえよう日々努力しています。

——以前はどのような仕事をしていたのですか？

敷島支所で7年間、経済業務を行っていました。

——仕事をするにあたり、気を付けていることはありますか？

組合員の方々が、よりよい営農作業を行えるような資材提案等を心がけ、積極的な訪問などを通して、コミュニケーションをとることに重点を置くようにしています。

——趣味はアウトドアとのことですが、どのようなことをされるのですか？

カヤックです。「キャンプに行った際に出来る面白い遊びはないものか」と考えていたときに出会いました。休日には友人と一緒に湖に出かけ、楽しんでいます。

——これからの季節にぴったりですね。

そうですね。自然の中で伸び伸び行える為、よい気分転換にもなっています。

——他にも、スノーボードやランニング等のスポーツをされているそうですね。

はい。基本的に体を動かすことが好きなので、時間があれば走ったりしています。運動によって養われた瞬発力を仕事にも活かせればと思っています。

——最後に、今後の意気込みを聞かせてください。

北橘地区と敷島地区では対象としている作物や必要資材が違うため、一から勉強しなければならない部分もありますが、一日でも早く即戦力となれるよう頑張りたいと思います!

武田さん、お忙しい中ありがとうございました。



畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は2月25日に1月の牛乳乳製品統計を公表した。1月生乳生産量は62万6,346tで前年同月比2.8%の減となった。北海道は32万2,132t（前年同月比3.1%減）で生産量の全国シェアは51.4%となった。

都府県の生産量は30万4,214tとなり、前年同月比で2.4%減少した。

■販売及び乳製品情勢

1月の用途別処理量は、牛乳等向けが31万3,870t（前年同月比2.1%減）、乳製品向けが30万7,918t（ $\downarrow$ 3.4%減）となった。

飲用牛乳等生産量は27万6,995 kl （ $\downarrow$ 1.7%減）で前月から0.3ポイント増加し、内牛乳が23万8,791 kl （ $\downarrow$ 1.9%減）、さらに乳飲料は9万9,601 kl （ $\downarrow$ 0.5%増）で前月より3.0ポイント減少した。

生乳生産量と用途別処理量

（単位：t、%）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生乳生産量	全 国	650,222	671,097	638,214	632,103	607,577	593,120
	群馬(委託実績)	19,599	19,959	18,641	18,295	17,574	17,052
	本会(委託実績)	6,558	6,640	6,158	5,996	5,665	5,601
用途別処理量	飲用牛乳等向け	324,209	346,307	346,396	349,569	328,957	353,511
	乳製品向け	321,246	320,073	287,092	277,756	273,978	234,854
	その他向け	4,767	4,717	4,726	4,778	4,642	4,755
前年対比	生乳生産量(全国)	100.1	100.0	99.4	98.1	96.5	98.2
	〃(群馬)	100.1	99.8	99.5	99.4	98.4	98.9
	〃(本会)	105.7	106.4	106.2	106.1	104.4	107.7
	飲用牛乳等向け	98.9	98.8	98.6	100.4	99.0	97.9
	乳製品向け	101.4	101.3	100.4	95.4	93.6	98.8
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	608,496	587,766	616,418	626,346			6,231,359
	17,591	17,062	17,950	18,314			182,035
	5,768	5,564	5,805	5,901			59,656
	350,359	325,513	307,194	313,870			3,345,885
	253,213	257,466	304,525	307,918			2,838,121
	4,924	4,787	4,699	4,558			47,353
	97.0	97.2	97.6	97.2			98.1
	98.0	97.4	98.5	97.7			98.8
	103.9	103.1	105.1	103.1			105.2
	98.3	99.0	98.5	97.9			98.7
	95.2	95.1	96.7	96.6			97.5

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(3月予想)

消費が上向く材料に乏しく弱持合いの展開が見込まれる。消費税増税を前に食費抑制の動きがあり、和牛上位が弱気の取引となる見込。

肉牛枝肉相場(予想)

和牛去勢A5 2,100円中心
和牛去勢A4 1,850円中心

和牛去勢A3 1,700円中心
和牛去勢A2 1,380円中心
交雑去勢B5 1,690円中心
交雑去勢B4 1,390円中心

交雑去勢B3 1,200円中心
交雑去勢B2 1,150円中心
乳牛去勢B2 800円中心

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

年・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
和牛去勢A4	24-25年 1,604	1,641	1,665	1,629	1,590	1,649	1,682	1,776	1,867	1,695	1,750	1,785	1,694
	25-26年 1,749	1,829	1,901	1,829	1,832	1,896	1,929	1,999	2,076	1,900	1,904		1,895
	前年格差 145	188	236	200	242	247	247	223	209	205	154		200
和牛去勢A3	24-25年 1,393	1,482	1,476	1,445	1,349	1,419	1,495	1,592	1,707	1,585	1,615	1,633	1,516
	25-26年 1,627	1,717	1,710	1,664	1,649	1,710	1,780	1,852	1,813	1,658	1,693		1,716
	前年格差 234	235	234	219	300	291	285	260	106	73	78		200
和牛去勢A2	24-25年 1,233	1,340	1,315	1,249	1,187	1,238	1,376	1,385	1,466	1,180	1,419	1,479	1,322
	25-26年 1,508	1,472	1,522	1,441	1,405	1,521	1,662	1,579	1,583	1,371	1,516		1,507
	前年格差 275	132	207	192	218	283	286	194	117	191	97		185

群馬県食肉卸売市場上場頭数

(単位：頭)

年・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
24-25年	1,270	845	1,167	1,467	1,406	1,383	1,336	1,887	1,668	1,000	1,123	1,025	15,577
25-26年	1,236	929	898	1,126	1,098	1,090	1,162	1,584	1,385	1,132	1,186		12,826
前年増減	▲34	84	▲269	▲341	▲308	▲293	▲174	▲303	▲283	132	63		▲2,751

■素牛動向

- ①全農・取引基準価格(乳去) 260~300kg 546円/kg(前月比101.1%)
②F1価格(去勢) 250~300kg 1,159円/kg中心(雌) 250~300kg 1,061円/kg中心
③和牛子牛(去勢) 572千円中心(前月比100%) (雌) 494千円中心(前月比100%)

養豚情勢

枝肉相場関係

豚群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

（単位：円税込）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
23-24年(A)		477	460	537	509	473	431	351	384	436	390	393	388	436
24-25年(B)		397	420	479	443	468	425	365	358	418	363	390	404	411
25-26年(C)		450	499	485	498	507	499	466	477	521	458	467		484
(B-A)		▲80	▲40	▲58	▲66	▲5	▲6	14	▲26	▲18	▲27	▲3	16	▲25
(C-B)		53	79	6	55	39	74	101	119	103	95	77		73

豚肉価格形成要因

豚群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間頭数
と畜頭数	24-25年	41,308	41,048	37,617	38,294	38,608	37,444	46,194	47,808	46,869	45,435	40,085	41,826	502,536
	25-26年	42,393	40,315	34,599	40,317	37,843	39,480	47,010	43,823	45,029	43,425	39,985		454,219
前年比(%)		102.6	98.2	92.0	105.3	98.0	105.4	101.8	91.7	96.1	95.6	99.8		90.4

肉豚生産出荷予測（全国）

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	10月	11月	12月	10～12月	1月	2月	3月	1～3月	4月	5月	6月	4月～6月	7月
全国出荷予測頭数(千頭)		1,542	1,496	1,552	4,590	1,454	1,344	1,406	4,204	1,448	1,390	1,263	4,101	1,368
前年同月比(%)		101	98	102	100	100	101	101	101	100	98	101	99	100

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、3月の出荷見込頭数は1,406千頭（前年同月比101%）となっている。その後は4月1,448千頭（〃100%）、5月1,390千頭（〃98%）と予想されている。相場は持合いの見込み。バラの人気は続く一方、ウデやモモなどの下位等級は学校給食が終わり鈍くなる。円安や現地相場の高値、通関審査の厳格化を受け、輸入が伸び悩み相場を下支えする可能性がある。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

14年3月225円（見込み） 129%（前年比）

（単位：円）

価格の推移

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
24-25年(A)		182	168	161	160	157	176	193	209	230	171	190	175	181
25-26年(B)		172	164	155	157	175	211	220	260	280	224	240		205
(B-A)		▲10	▲4	▲6	▲3	18	35	27	51	50	53	50		24
全国基金	24-25年	12.987	20.88	24.3	24.3	23.886	9.648	0	0	0	18.999	0	9.774	
補填	25-26年	15.714	21.645	24.3	24.3	9.306	0	0	0	0	0	0		

※平成24年度鶏卵価格差補填事業については、9月以降補填財源はありません。

■価格動向：2月の平均単価は240円（前年同月+50円）と前年同月を上回り、平成25年3月～平成26年2月期平均は203円（前年同期比+22円）であった。

■出荷動向：生産量は気温上昇に伴い増加するが、依然として価格が高いため業務用の液卵などの輸入が増加する見込み。

■需要動向：前半は特別な行事がなく弱い展開だが、春休み中の花見需要や月末の特売需要が見込まれる。また消費税増税を控え、最終週に動く可能性もある。

卵価要因

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
加工卵輸入	24-25年	1,781	2,301	2,198	2,403	2,515	2,609	2,762	2,399	1,921	1,838	1,961	1,997	26,685
実績(t)	25-26年	2,283	2,151	1,776	2,084	2,488	1,867	2,201	2,451	2,631				19,932
前年比(%)		128.2	93.5	80.8	86.7	99.0	71.6	79.7	102.1	137.0				74.7
餌付羽数	24-25年	7,908	7,874	7,780	7,768	7,007	7,534	7,803	7,238	7,314	7,215	7,317	7,520	90,278
(千羽)	25-26年	7,742	7,767	7,895	7,200	6,896	8,170	7,346	7,464	7,636	7,251			75,367
前年比(%)		97.9	98.6	101.5	92.7	98.4	108.4	94.1	103.1	104.4	100.5			83.5

■餌付見込

※農水省は餌付け羽数見込みを公表しないことになったため、今後、餌付け羽数実績のみ掲載することになります。

■価格の推移

(7) 21年:175円
(1) 15年:151円 (4) 18年:184円 (8) 22年:194円
(2) 16年:173円 (5) 19年:169円 (9) 23年:188円
(3) 17年:204円 (6) 20年:193円 (10) 24年:181円

■原料情勢

①とうもろこし（シカゴ定期）

2月10日発表の米国農務省需給見通しによると、13/14年度の供給量は、前回発表と変わらず14,781百万ブッシェルとなった。一方、需要量は直近の輸出成約高が好調に推移していることを受け、輸出向け需要が増加すると見られたことから、前回発表から150百万ブッシェル増加する、13,300百万ブッシェルとなった。期末在庫は、前回発表から150百万ブッシェル減の1,481百万ブッシェル（在庫率11.14%）となる見通し。

シカゴ定期は、毎週発表される週間輸出成約数量が非常に大きな値を記録し続けていたことで、13/14年度米国産とうもろこしの輸出需要の上方修正及び期末在庫の大幅な下方修正が懸念されていたが、米国農務省需給見通しの事前予想通り、期末在庫は1,481百万ブッシェル（在庫率11.14%）と下方修正された。発表直後は瞬間的に値を上げたものの、期末在庫の下方修正は折込み済みであったことや、3月限が450セント/ブッシェル手前で推移する中で農家売りが出てきていることもあり、その後は頭の重い展開となった。現在3月限は発表前と同じく440セント/ブッシェル前半で推移している。

今後の相場に影響を与える材料として、14/15年度米国産とうもろこしの作付け予想面積、3月末に発表され

る14/15年度米国産作付面積意向調査に注目が集まる。

米国産とうもろこしのFOBプレミアムは、農家売りが少ないことや輸出需要が強いことから堅調に推移している。

②大豆粕

2月10日発表の米国農務省需給見通しによると、13/14年度の大豆需給見通しは、カナダからの輸入量が増加したことにより前回発表より500万ブッシェル増加し、3,459百万ブッシェルとなった。一方、需要量は輸出向けが増加したことにより、前回発表より500万ブッシェル増加して、3,309百万ブッシェルとなり、この結果、新穀13/14年度の期末在庫は前回発表と変わらず、150百万ブッシェル、在庫率4.53%となった。

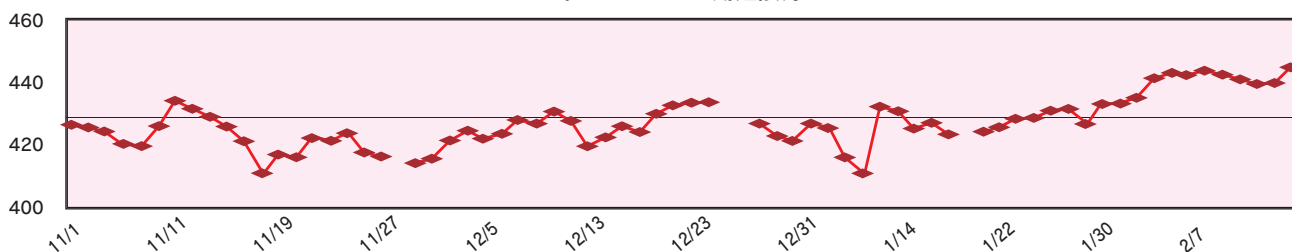
大豆粕のシカゴ定期は、中国による米国大豆の大量成約の影響を受け、現在は450ドル台で推移している。

■海上運賃

米国ガルフー日本間のパナマックス型海上運賃は、中国の旧正月に向けて需給が緩和し船料相場が下がったが、今後は再び中国向け需要が高まるのではないかとの見方もあり、今後の動向が注目される。現状は52ドル付近で推移している。

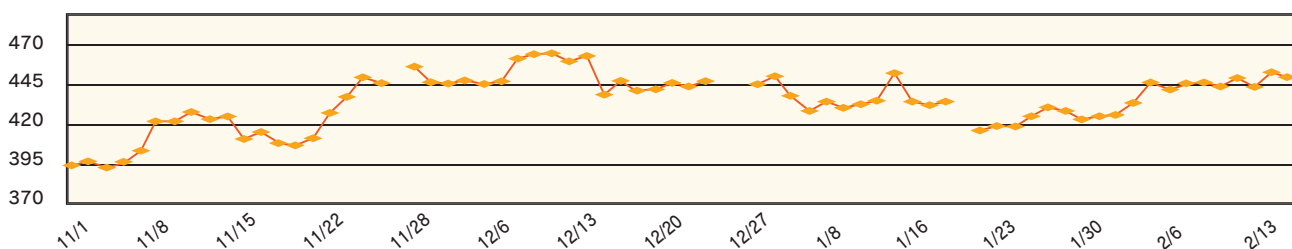
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



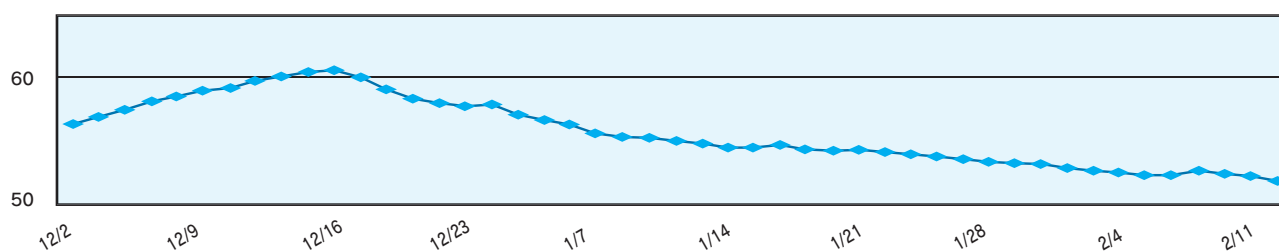
セント/ブッシェル

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！

花木流通センターの「ふらわーらんど」では、毎月3回、季節の草花を利用した「寄せ植え講習会」を開催しています。皆さんも、お友達同士でおしゃべりしながら楽しい時間を過ごしませんか？興味のある方は是非ご参加ください。なお、県内への出張講習会にも対応いたします。詳細のお問い合わせ及びお申込みは「ふらわーらんど」まで。



4月の売出しイベント案内

開催日	内容
4月5日(土)・6日(日) 両日とも 10:00～	栽培講習会 (里芋・生姜・トウモロコシ・枝豆・落花生) 【参加費無料・申込み不要】
4月17日(木) 10:00～ 14:00～	花の寄せ植え講習会(各回20名まで) 【参加費・申込み方法等 お問い合わせ先：ふらわーらんど】
4月20日(日) 10:00～	花の寄せ植え講習会(20名まで) 【参加費・申込み方法等 お問い合わせ先：ふらわーらんど】
4月26日(土)～ 5月6日(火)	ゴールデンウィーク菜園フェア

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

花木流通センター

営業時間：年中無休/9:00～18:00

(節電のため7月～9月毎週火曜日定休)

取扱商品

- 園芸資材館/営農・園芸資材等
- ふらわーらんど/鉢花、花苗等
- JA植木コーナー/緑花木、盆栽等
- エクステージ/外構・造園工事等
- ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等
- 外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先 TEL:027-220-2427 FAX:027-220-2424 前橋市亀里町1307-1

愛菜館

営業時間：毎週火曜日定休/9:00～18:00

取扱商品

- 産直野菜
- 農産加工品
- 店頭精米等



お問い合わせ先 TEL:027-210-7788 FAX:027-210-9811 前橋市古市町106-1

グッドぐんまの旬の市



営業時間：毎週木曜日定休/AM10:00～PM18:00
土日は群馬県農畜産物のPRイベント、平日は県特産品の販売をしています。



- 電車/東武伊勢崎線「浅草駅」より徒歩3分
- 地下鉄/東京メトロ銀座線「浅草駅」より徒歩3分

お問い合わせ先 〒111-0032 東京都台東区浅草一丁目34番4号 TEL:03-3844-0830 FAX:03-3844-0837

旬の市 4月のイベント案内

4月5日(土)	JAあがつま加工品フェア (沢田の漬物・ジャム・ジュース・他加工品)
4月12日(土)～13日(日)	県産春の山菜フェア (タラの芽・ごこみ・山ウド・他)
4月19日(土)	県産地酒まつり(県内産地酒・ワイン)
4月26日(土)	JA北群波川採れたて野菜フェア (採れたて野菜と伊香保観光協会大抽選会)

※イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番

「県本部通信」係まで

E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp

※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



クレマカタラーナ (スペイン風焼きプリン)

材 料

4人分	(1人前207kcal)
牛乳	260g
砂糖	60g
卵黄	4個
卵	1個
バニラオイル	小さじ1/4
ラム酒	小さじ1
グラニュー糖	大さじ1.3

作り方

- 1 小鍋に牛乳と砂糖を入れ、砂糖がとけるまで火にかける。
- 2 ボウルに卵黄・全卵・1を入れ混ぜ合わせ、バニラオイルとラム酒を加えて裹ごしする。
- 3 180℃に熱したオーブンの天板に水をはり、2を型に流し入れたものを20～25分程焼く。
- 4 3が冷めたら上からグラニュー糖をふり、焼いた鉄コテを上から押し付けて焼き色をつける。
- 5 4を冷蔵庫で冷やす。